

天高く晴れわたるといった秋空が少ないまま霜月となりました。
紅葉前線ならず秋雨前線のニュースが目につく日々が続いています。

衆議院の総選挙もありましたが、30 年度の予算編成に向けて要望活動や、様々な団体の全国大会が開催される季節でもあります。村でも来年度の予算編成に向けて各団体の要望をお聞きし、総合計画の見直しを行なう作業に着手しております。そんな中、先日、全国源流の郷協議会主催の首長会議と源流サミットが東京で開催され出席して参りました。東京農業大学の宮林茂幸教授の基調講演があり、これからの村づくりに大いに参考になるとともに、重要な観点である話がありましたので紹介したいと思います。

まず、課題として、源流の里を構成する町や村は何れも中山間地であり、人口減少と高齢化が進み、大変厳しい状況に置かれていることは共通しております。しかし、このままでは過疎化が進み消滅自治体への道をまっしぐらでよいわけがありません。宮林教授は、「こうした源流地域の保全是国の重要な安全保障のひとつである。」と説かれています。そして源流地域の保全とは、ダムや砂防堰堤を作ることだけではなく、その地域に人々が住み続けそこで生活を営み続けることこそが重要で、そうでないと国土の監視ができず山や川は荒れ、やがてその類は、都市住民をも危機に陥れることになることと説かれました。源流域で暮らしている私たちにとって勇気づけられる話でもあり、全国民の共通の課題であるという事を訴え続けて行く努力を続けなければならないと思っています。

- ・全国源流の郷協議会 <http://genryunosato.net/>

超大型の台風 21 号が上陸しましたが、備えあれば憂いなしで早めの避難を心がけていただいた皆さんもありました。直撃にはならず、幸いにも本村では風倒木や停電が発生した程度で済み、怪我や人命にかかる事故も無く安堵しています。しかし、強風による家屋の一部破損などの被害も報告されており、被害に遭われました皆様には心からお見舞いを申し上げます。

こうした台風だけでなく、近年各地で発生している集中豪雨や東南海地震などの大規模災害対策の一環として、フォレストスタイル事業でご縁ができた長野県信濃町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結いたしました。

- ・災害協定 <https://www.town.shinano.lg.jp/docs/315490.html>

信濃町は、黒姫山や野尻湖、有名なスキー場やゴルフ場が多くある観光地であります。また、俳人の「小林一茶」生誕の地であり、小林一茶記念館もあります。調印式では、「有事の際の協力はもちろんです。これから産業や文化振興の面で、民間ベースの交流が盛んになることを願っています。」と挨拶して参りました。既に両町村の「道の駅」同士の交流が始まっています。村内の皆さまにも、団体やグループでの交流を活発に行なっていただけるようになることが、本来の目的である有事の際の助け合いにつながることを考えています。

- ・長野県信濃町 <https://www.town.shinano.lg.jp/>
- ・一茶記念館 <http://www.issakinenkan.com/>

11 月 2-3 日文化祭、11 月 12 日秋フェスタと行事の多い季節となります。

- ・東白川村秋フェスタ

<https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/syukai/event/top4/#autumn>

東白川の紅葉スポットを発掘する「もみじプロジェクト」も始まりました。
深まり行く秋を楽しみたいものです。

平成 29 年 11 月 1 日

東白川村長 今井俊郎